❶東浦村道路元標…

道路の起点や終点を示します。大正9年に設置されました。

❷本陣跡…

緒川は宿場ではありませんが、尾張の殿様が知多半島を巡行されるときに宿泊したのが本陣で沢田仁右衛門家が務めました。尾張藩主７代宗春、９代宗睦（むねちか）、１２代斉荘（なりたか）が宿泊し、９代宗睦（むねちか）の宿泊記録が緒川村庄屋代文左衛門により残されています。この時にはお休みどころを造ってもてなし、７泊もしたといいます。

❸野村酒造跡…

本陣跡の西側に長い煙突がそびえる野村酒造がありました。銘柄は「幸娘」でしたが、平成24年跡地に15軒の住宅が建ちました。

❹札木の辻跡…

江戸時代初めは入江になっていて船着き場でした。そこに浦方高札という尾張藩のお触れが掲げられていました。

❺地蔵院…

本尊は蛎殻地蔵で創建は不明。第三代緒川城主水野清忠の奥方が蛎殻地蔵に子宝を授かるように祈願し、満願の日境内の井戸に沢瀉の葉が浮かび、その上に永楽銭が一つ乗っていました。その後、奥方は子宝に恵まれ沢瀉と永楽銭を水野氏の家紋にしたといいます。他に、樹齢約300年のイブキの木、うなり石があります。

❻緒川城址…

緒川城は水野貞守が文明年間（1469～1486）に築城して以来、約130年間水野氏の居城でした。四代水野忠政の時に知多半島一円に勢力を拡大し、彼は水野家中興の祖と言われています。しかし、その後を継いだ水野信元は織田と同盟を結び、家康を助けるなど活躍するも、信長に疑われて殺されてしまいます。水野氏もこの城を追われてしまいますが、5年の後、水野忠守が緒川城主に復帰し、刈谷城主に水野忠重が就いています。

そして、関ヶ原の戦いにおいて水野分長が功績を認められ、1601年に緒川藩10,000石の藩主となりました。当時の緒川城は「緒川村古城絵図」によると、土塁と堀に囲まれた大小4つの曲輪が描かれており、主曲輪と北の曲輪群は家臣の屋敷地で、その一角は分長の時代に居城とされ「高藪城」と呼ばれました。しかし、緒川藩は長くは続かず1606年に分長は新城10,000石に移封となり、緒川城は廃城となり緒川藩は消滅しました。

❼濁池城跡…

延文5年（1360）水野氏の先祖と言われている小河正房は、美濃の土岐氏に滅ぼされ、その攻防があったのが濁池城と言われています。これにより小河重房以来8代180年で小河氏は滅びました。

❽善導寺…

嘉吉3年（1443）創建、浄土宗。於大の方は嫁ぎ先の岡崎松平家が浄土宗であったことから、自身の菩提所としてたびたび参詣し三尊来迎の像や柄香炉などを寄進。他には於大の方の夜着、県指定の「異国降伏祈願施行状」を所蔵しています。

・乗林院…善導寺の塔頭、学制発布により明治5年～8年、緒川村と石浜村共同の「郷学校」が設置されました。

❾越境寺…

日蓮宗、庭の隅にキリシタン灯籠があります。慶長の法難の主人公、日経上人の筆になる「血曼荼羅」があります。建物は緒川城と刈谷城の家老が本堂と庫裏を寄進して建立されました。墓地には、緒川城家老家と刈谷城家老家のお墓があります。

❿東光寺…

乾坤院2世住職の逆翁宗順が、乾坤院の建設中ここに住んだといいます。西国33観音を祀る観音堂があり、その門前に清水次郎長の子分で緒川勝五郎の墓と言われる供養塔があります。

⓫伝宗院…

天文年間（1532～1555）に水野氏（信元の弟信近の子守隆）により創建されました。
知多四国8番札所が文政6年（1823）に置かれました。

⓬黒壁の家…

黒色にした理由は不明（主に防腐･白アリ対策､船にタールを塗ったことに始まるとも）､この黒壁が街並みを作り出しており､景観の重要な要素になっています。

⓭入海神社・貝塚…

神社の創建は不明、祭神はオトタチバナヒメノミコト。境内に縄文早期の入海貝塚があり、昭和28年に国の指定史跡になりました。

⓮了願寺…

浄土真宗大谷派、創建不明。尾張藩漢学者永井星渚（せいしょ）の墓があります。
小牧長久手の戦いで功を上げた永井直勝の息子、正直は緒川の沢田家で育ち、ここ了願寺に代々の当主の墓があります。永井荷風、三島由紀夫はその一族です。

⓯社宮司…

石を祀った古代からの自然信仰の一つ。海からの悪疫や敵を防ぐ信仰です。

⓰郷蔵…

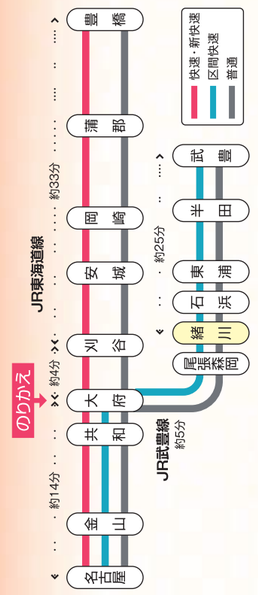
江戸時代に年貢を保管しておく蔵でした。後半には飢饉に備え米穀類も保管したようで、現存するものとしては知多半島でも数少ない一つです。

緒川コミニュティーセンター敷地…

江戸時代の豪農で酒造家の塚本源左衛門のお屋敷跡。その広さは中西屋の通りからガソリンスタンドの通りまでで、「半田半六　緒川じゃ源左　鳴海下郷千代倉よ」と戯れ歌で歌われるほどでした。明治以後、64年間は緒川小学校、区の事務所、警察、農協などが置かれ緒川の中心でした。

東浦町観光協会

〒470-2103　愛知県知多郡東浦町大字石浜字岐路28番地の2
（東浦町勤労福祉会館商工振興課内）
TEL0562-83-6118　FAX0562-83-6117
[ホームページ] http://higashiura.or.jp/kanko/



■電車のアクセス

名古屋･金山方面から
●JR武豊線直通･区間快速武豊行きで「緒川駅」下車
●JR東海道線「大府駅」にてJR武豊線のりかえ2駅目「緒川駅」下車
※大府駅には特別快速は停車しません
刈谷･安城方面から
●JR東海道線「大府駅」にてJR武豊線のりかえ2駅目「緒川駅」下車
※大府駅には特別快速は停車しません
半田･武豊方面から
●JR武豊線「緒川駅」下車

■車のアクセス
●国道366号線バイパス沿い　【刈谷･安城･知立方面より､平成大橋を渡りすぐそこ】
●東浦知多ICから車で約10分　【ICを下りて左折､東浦町役場方面へ】
●衣浦大橋より車で約15分　【高浜･碧南･西尾方面より】

ボランティアガイドがご案内します

1 緒川藩城下町コース：緒川（約2時間）
1601年緒川城主水野分長の一万石緒川藩が成立しました。しかし、分長が1606年に新城に移封となり、緒川城は尾張藩直轄となり廃城という運命をたどりました。そんな歴史を偲びゆかりの地を散策します。

2 織田信長ゆかりの地散策コース：森岡（約2時間）
信長･水野信元の連合軍と今川軍が村木砦をめぐって激しく戦いました。この戦いで、信長は初めて鉄砲を使ったといわれています。森岡地区に残されている信長ゆかりの地を散策します。

3 於大の方ゆかりの地散策コース：緒川（約2時間）
緒川城主水野忠政の娘於大は、1541年に岡崎城主の松平広忠に嫁ぎ、二人の間に生まれたのが竹千代（後の徳川家康）です。緒川地区に残されている於大ゆかりの地を散策します。

ガイドは無料です

お問合せ

東浦ふるさとガイド協会
（東浦町郷土資料館内）
〒470-2103　愛知県知多郡東浦町大字石浜字桜見台18-4
TEL0562-82-1188（月曜日休館）
ホームページ／http://higashiura-guide.jimdo.com/
※必ず2名以上のグループで、ガイド希望日の5日前までの申込が必要です。

於大の里 緒川城下町

初代城主水野貞守から七代水野分長まで
水野氏130年間の居城――緒川城